

安全データシート

P. 1/5

最新改訂版作成日:2013年 10月 18日

G-84

1. 製品および会社情報

製品名

キャリッジ副軸用グリス

会社情報

製造業者 :セイコーユーポン株式会社

住所 :〒399-0785 長野県塩尻市広丘原新田 80 番地

電話番号 :0263-52-2552 FAX 番号 :0263-53-3702

E-mail :msds_hro@exc.epson.co.jp

緊急連絡先番号 :0263-52-2552(月~金、午前9時~午後5時)

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性 分類できない

人健康有害性

区分外

急性毒性(経口)

区分外

皮膚腐食性／刺激性

区分外

眼に対する重篤な損傷／眼刺激性

区分外

環境有害性

分類できない

3. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区別:混合物

成分及び含有量

化学名	含有量 (wt%)	官報公示整理番号 (化審法 ₍₁₎ 安衛法 ₍₂₎)	CAS No. ₍₃₎
基油(合成炭化水素油)	80-90	非該当	—
増ちょう剤(リチウム石けん)	<10	非該当	—
添加物(極圧剤、酸化防止剤、防錆剤、染料)	5-15	非該当	—

4. 応急処置

眼に入った場合 :清浄な水で15分間洗浄し、医師の診断を受ける。

皮膚に付着した場合 :よく拭き取った後、水と石けんで十分洗浄する。

吸入した場合 :新鮮な空気の場所へ移し、身体を毛布などで覆い、保温して安静に保ち、医師の診断を受ける。

飲み込んだ場合 :無理に吐かせずに、直ちに医師の診断を受ける。

安全データシート

P. 2/5

最新改訂版作成日:2013年 10月 18日

G-84

5. 火災時の措置

- 消火剤 :泡、粉末、炭酸ガス、乾燥砂
使ってはならない消化剤 :注水は、火災を拡大し危険な場合がある。
火災時の特定危険有害性 :現在のところ有用な情報なし。
特有の消火方法 :初期の火災には粉末、炭酸ガス、乾燥砂糖の消火剤を用いる。
大規模火災には、泡消火剤を用いて空気を遮断する。
関係者以外は安全な場所に撤去させる。
消火を行う者の保護 :消火を行う際には保護具を着用する。
消火作業は風上から行う。

6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項 :作業の際には、必ず保護具を着用する。
環境に対する注意事項 :漏出した製品が河川等に排出されないように注意する。
除去方法 :漏出したものをかき集めて、密閉できる空容器に回収する。少量のものは灯油等の溶剤で拭き取る。
二次災害の防止策 :付近の着火源となるものを速やかに取り除く。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

- 技術的対策 :取扱いは換気のよい場所で行い、漏れ、あふれ、飛散しないようにし、みだりに蒸気を発生させない。
注意事項 :眼に入ると炎症を起こすことがある。取り扱う際には保護眼鏡を使用して眼に入らないようにする。
皮膚に触れると炎症を起こすことがある。取扱う際には保護手袋を使用する等して皮膚に触れないようにする。
誤って飲み込むと下痢・嘔吐することがある。
取扱の都度、容器を密閉する。
安全取扱い注意事項 :容器を開ける時は、手を切るおそれがあるので保護手袋を着用する。

保管

- 適切な保管条件 :ゴミ、水分などの混入防止のため使用後は密栓して保管する。
直射日光を避け、火気、熱源から遠ざけて暗所に保管する。
安全な容器包装材料 :空容器に圧力をかけない。
容器は溶接、加熱、穴あけ又は切断しない。爆発を伴って残留物が発火することがある。
-

安全データシート

P. 3/5

最新改訂版作成日:2013年10月18日

G-84

8. 暴露防止及び保護措置

設備対策 :ミストまたは蒸気の発生する場合は発生源の密閉化、または排気装置を設ける。

保護具

呼吸器の保護具 :通常必要でないが、必要に応じて防毒マスク(有機ガス)を着用する。

手の保護具 :長時間または繰り返し接触する場合は、耐油用保護手袋を使用する。

眼の保護具 :飛沫が飛ぶ場合はゴグル形眼鏡を着用する。

皮膚及び身体の保護具 :長時間にわたり取扱う場合、または濡れる場合は耐油性の長袖作業衣を着用する。

濡れた衣服は直ちに脱ぎ、完全に清浄にしてから再使用する。

9. 物理的及び化学的性質

物理的状態

形状 :半固体

色 :青色

臭い :僅かな臭気

pH :データなし

沸騰範囲 :データなし

物理的状態が変化する特定の温度／温度範囲

沸点範囲 :データなし

凝固点 :データなし

引火点 :230 °C (セタ)

爆発特性

爆発限界 :データなし

密度 :0.89 g / cm³

溶解性 :水に不溶

その他のデータ

滴点 :205 °C

10. 安定性及び反応性

安定性 :通常の条件では安定

反応性 :強酸化剤との接触を避ける

危険有害な分解生成物 :260°C以上の高温下で有害なフッ素系のガスを発生する可能性がある。

安全データシート

P. 4/5

最新改訂版作成日:2013年10月18日

G-84

11. 有害性情報

急性毒性(経口)

:各成分の急性毒性(経口)より混合物は区分外と分類される。

皮膚腐食性・刺激性

:各成分の皮膚腐食性／刺激性より、混合物は区分外と分類される。

眼に対する重篤な損傷・刺激性

:各成分の眼に対する重篤な損傷／眼刺激性より、混合物は区分外と分類される。

その他

:現在のところ有用なデータなし

12. 環境影響情報

生態毒性 :環境への影響について、有効なデータはありません。

残留性・分解性 :環境への影響について、有効なデータはありません。

生体蓄積性 :環境への影響について、有効なデータはありません。

土壤中の移動性 :環境への影響について、有効なデータはありません。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物

「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に従い適性に処理する。

- 都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合は、そこに委託して処理する。

投棄禁止

汚染容器・包装

- 空容器を廃棄する場合、内容物を完全に除去した後に処分する。

14. 輸送上の注意

国連分類 :非該当

国連番号 :非該当

国際規制

陸上輸送 :消防法 危険物非該当

海上輸送 :船舶安全法 非危険物 個別運送及びバラ積み運送において

航空輸送 :航空法 非危険物

輸送上の特定の安全対策

- 可燃性の液体を使用しているので「火気注意」
- 容器が破損しないように、丁寧に扱う。
- 荷崩れや落下事故を起こさないよう、荷造りを十分にした上で積み込む。

15. 適用法令

消防法 :危険物非該当

労働安全衛生法 通知対象物 :該当しません。

化学物質排出把握管理促進法⁽⁹⁾ :該当しません。

毒物及び劇物取締法 :該当しません。

水質汚濁防止法 :油分排出規制 (ノルマルヘキサン抽出分をして検出される。)

海洋汚染防止法⁽¹⁰⁾ :油分排出規制 (原則禁止)

安全データシート

P. 5/5

最新改訂版作成日:2013年 10月 18日

G-84

下水道法

:鉱油類排出規制(5 mg/L 許容濃度)

廃棄物の処理及び清掃に関する法律

:産業廃棄物規制 (拡散、流出の禁止)

16. その他の情報

引用文献等

- ・製品安全データシートの作成指針(改定版) (日本化学工業協会)
- ・JIS Z 7250:2005 化学物質等安全データシート (MSDS)
- ・許容濃度の勧告(2010)日本産業衛生学会 産衛誌 52巻
- ・Thresholds limit values for chemical substances and physical agents and biological exposure indices, ACGIH (2007)
- ・IARC Monographs on the Evaluation on the Carcinogenic Risk of Chemicals to Humans VOLUME33
- ・CLPに関する欧州議会および理事会規則(EC)No 1272/2008
付属書VI「有害性物質の調和化された分類及び表示のリスト」

本文書の記載内容は、ユーザーズマニュアル(取扱説明書)に指定された通常の条件下で製品のふさわしい使用に対して、弊社の見解を表したもので。さらに、記載されているデータは、弊社の最善の知見に基づくものですが、すべての化学品には、未知の有害性があり得るため、取り扱いには細心の注意が必要です。特殊な取り扱いには、この点ご配慮をお願いいたします。
